

学校での様子

学校生活における学習面での様子について、支援者や保護者の方が気づいた点を記録するための参考項目です。支援を考えるための観察のポイントや、有効だった支援をまとめてみてください。

(1) 聞くことについて

御本人についての気づきの例：聞き違いがある（例：「知った」を「行った」と聞き間違える）、聞き漏らしがある、個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい、指示の理解が難しい、話し合いが難しい（話の流れが理解できず、ついていけない）、その他（聞くことに関して）

(2) 話すことについて

- 適切な速さで話すのが難しい（たどたどしい、早口すぎるなど）
- 言葉につまったりする
- 単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しい話をする
- 思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい
- 内容を分かりやすく伝えるのが難しい
- 口蓋裂の影響で発音しにくい音がある

(3) 読むことについて

- 初めて出てきた単語や、普段あまり使わない語句などを読み違える
- 文中の語句や行を抜かしたり、繰り返し読んだりする
- 音読が遅い
- 勝手読みがある（「いきました」を「いました」と読むなど）
- 文章の要点を正しく読み取るのが難しい

(4) 書くことについて

- 文字のバランスが整いづらい(字の形や大きさが整っていない、まっすぐに書けない)
- 筆順が自分なりになりやすい・筆順を覚えることが難しい
- 文字の細かい部分を書き間違える
- 句読点が抜けたり、正しく打てなかったりする
- 限られた量の作文や決まったパターンの文章しか書けない

(5) 計算することについて・考えること、行動することについて

- 繰り上がり、繰り下がりの計算でつまづく
- 筆算で位をそろえて書くのが難しい
- 九九の記憶や、簡単な暗算が苦手
- 図形やグラフの読み取りが苦手
- 時計を読むのが苦手
- 物事の因果関係を理解するのが難しい(「～だから～になる」が分かりにくい)
- 複数の情報から、次に何が起こるかを予測するのが難しい
- 文章や話の隠れた意味や、人の意図を読み取ることが苦手
- 見通しを立てるのが苦手で、行き当たりばったりな行動になりがち

※ 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について
https://www.mext.go.jp/content/20230524-mext-tokubetu01-000026255_01.pdf

